

## 沖縄島の海岸でのチュウゴクスッポンの観察の一例

和智 仲是・鈴木 大

903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学 戦略的研究プロジェクトセンター

005-8601 北海道札幌市南区南沢5条1-1-1 東海大学生物学部生物学科

A record of the Chinese soft-shelled turtle, *Pelodiscus sinensis*, observed in salt-water environments, Okinawa Island, Japan.

By Nakatada WACHI and Dai SUZUKI

Center for Strategic Research Project, University of the Ryukyus, Senbaru 1, Nishihara-cho, Nakagami-gun, Okinawa 903-0213, Japan

Department of Biology, School of Biological Sciences, Tokai University, 1-1, Minamisawa 5-jo 1-chome, Minami, Sapporo, Hokkaido 005-8601, Japan

ニホンスッポン(広義の*Pelodiscus sinensis*)は長らく日本列島を含む東アジア地域に広く分布するとされてきたが、近年のDNA塩基配列の解析に基づき複数種に分ける分割説が普及しつつある。その説に基づく日本列島に在来分布するものは*P. maackii*ないしは*P. japonicus*となり、大陸中国には狭義の*P. sinensis*等が生息する(詳しくは, Suzuki and Hikida, 2014; 岡本ら, 2019を参照されたい)。以下本稿では、狭義の*P. sinensis*をチュウゴクスッポンと呼ぶ。チュウゴクスッポンは大陸中国・台湾などが自然分布域とされる(Turtle Taxonomy Working Group, 2017)。南西諸島には自然分布しないが、沖縄島以南の多くの島に導入され定着している(Sato and Ota, 1999; 自然環境研究センター, 2019)。

チュウゴクスッポンは通常淡水環境に生息しているが、筆者の一人和智は、2020年5月4日に沖縄県うるま市照間海岸の砂と礫が混じる浜で1匹のチュウゴクスッポンを確認したのでここに報告する。目測での甲長は25 cm・性別は不明である。当日の天気は晴れていたが、前々日に130 mmを超える降水があった(気象庁, 2020)。その状況から、降水によって周辺のタイモ畑や水路などが増水し、海岸へ流されてきた可能性が高いと考えられる。

スッポン科の一部の種は汽水や海水環境から見つかることがあり、広義の*P. sinensis*においても海水濃度の半分程度の塩水への耐性を持つことが飼育実験によって示されている(Lee et al., 2006)。さらに



図1. 海岸で発見されたチュウゴクスッポン(2020年5月4日11時47分撮影)

体内でできた尿素を、腎臓を介した尿として排泄するのではなく、口から排出することも知られており、その特性から汽水や海水環境への適応の可能性が指摘されている(Ip et al., 2012). このような背景からチュウゴクスッポンは海を渡ることによって分布を拡大させる可能性があると言える。本種は外来種であるため、防除対策を構築する際には洋上分散についても検討する必要がある。そして今回の観察事例により特に降水量が多い時期にはミシシippアカミミガメ(山本・亀崎, 2011; 楠田・杉浦, 2016; 谷口・亀崎, 2017)と同様に洋上分散の可能性が高まることが懸念される。

## 引用文献

- Ip, Y. K., Loong, A. M., Lee, S. M., Ong, J. L., Wong, W. P., and Chew, S. F. 2012. The Chinese soft-shelled turtle, *Pelodiscus sinensis*, excretes urea mainly through the mouth instead of the kidney. *Journal of Experimental Biology*, 215 (21): 3723-3733.
- 気象庁. 2020 (2020年11月16日閲覧). 過去の気象データ(胡屋, 2020年5月2日から4日). 入手先 <<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>>
- 楠田哲士・杉浦鉄太. 2016. 愛知県碧南市の汽水域および海域におけるミシシippアカミミガメの発見例. *亀楽* 12:4-6.
- Lee, S. M. L., Wong, W. P., Hiong, K. C., Loong, A. M., Chew, S. F., and Ip, Y. K. 2006. Nitrogen metabolism and excretion in the aquatic Chinese soft-shelled turtle, *Pelodiscus sinensis*, exposed to a progressive increase in ambient salinity. *Journal of Experimental Zoology Part A: Comparative Experimental Biology*, 305 (12): 995-1009.
- 岡本卓・竹内寛彦・鈴木大. 2019. 2013年以降の日本産爬虫類の分類の変更および関連する話題について. *爬虫両棲類学会報* 2019(2):202-217.
- Sato, H. and H. Ota. 1999. False biogeographical pattern derived from artificial animal transportations: A case of the soft-shelled turtle, *Pelodiscus sinensis*, in the Ryukyu Archipelago, Japan. p.317-334. In: H. Ota(ed.), *Tropical Island Herpetofauna: Origin, Current Diversity, and Conservation*. Elsevier Science B. V., Amsterdam.
- 自然環境研究センター(編). 2019. 最新日本の外来生物. 平凡社, 東京. 592p.
- Suzuki, D. and T. Hikida. 2014. Taxonomic status of the soft-shell turtle populations in Japan: A molecular approach. *Current Herpetology*, 33 (2): 171-179.
- 谷口真理・亀崎直樹. 2017. 大阪湾内で清掃船により捕獲された淡水カメ類. *亀楽* 14:9.
- Turtle Taxonomy Working Group. 2017. *Turtles of the World: Annotated Checklist and Atlas of Taxonomy, Synonymy, Distribution, and Conservation Status (8th Ed.)*. In: Rhodin, A.G.J., Iverson, J.B., van Dijk, P.P., Saumure, R.A., Buhlmann, K.A., Pritchard, P.C.H., and Mittermeier, R.A. (Eds.). *Conservation Biology of Freshwater Turtles and Tortoises: A Compilation Project of the IUCN/SSC Tortoise and Freshwater Turtle Specialist Group*. Chelonian Research Monographs, 7: 1-292.
- 山本明男・亀崎直樹. 2011. 海から上がったミシシippアカミミガメ. *亀楽* 2:7.